

A 1 9 中級 (実習あり)	<h2 style="margin: 0;">発明の創出・拡げ方（電気・機械）</h2> <p style="margin: 0;">事業強化に役立つ発明とはどういうものか？</p> <p style="margin: 0;">戦略的なアイデア創出ノウハウ</p>
講 師	弁理士 泉 通博（創光国際特許事務所 所長、元キャノン㈱）
日程・場所	東京会場 4月21日（火） （中止） → 7月21日（火）、10月27日（火）
時 間	1 日間（10:00～16:00）// 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	24 名（先着順申し込み）
受講料（税別）	20,000 円
対 象	研究開発部門担当者、知的財産部門の実務者
内 容	
<p>他社に先駆けた発明創出をするためのグループ活動を実施する企業が増えてきました。しかし、研究開発者を集めてブレインストーミングを実施するだけでは事業強化に役立つ発明が生まれるわけではありません。戦略的な発明創出のグループ活動を行うことではじめて成果が得られます。本講座では、漏れと重複を防ぐ戦略的なアイデア出しの手法の基礎を学び、実習を通じて発明創出の手順を体得します。企業の開発部門において培った視点を基に、現在も企業の開発部門との連携により発明創出活動に意欲的に取り組んでいる講師がノウハウを余すところなくお伝えします。</p> <p>知的財産部門や研究開発部門で発明創出活動に携わる方に最適です。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発明創出の基本プロセスを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 発明の種類と発明創出プロセス ・ 戦略的な発明創出プロセス ・ 漏れなく、重複なく発明を創出する方法 ・ マインドマップを利用したアイデア創出 2. 発明創出プロジェクトマネジメントを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 発明創出活動の落とし穴 ・ 発明創出プロジェクトマネジメント入門 3. 演習 1 「発明創出プロジェクトマネジメントを 実践する」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発明の目的の確認 ・ 技術テーマの選定 ・ 発明創出スケジュールの作成 ・ メンバーの選定 ・ 発明の品質基準の確認 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 演習 2 「戦略的な発明創出を実践する （グループ活動）」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の相場把握 ・ 技術の利用シーンの抽出 ・ 課題の抽出 ・ 課題を解決する手段の抽出 ・ ブラッシュアップ ・ 発明提案書の作成 ・ 発表 <p>※演習テーマは変更になる場合もございますのでご了承ください。</p>

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申し下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。